

読売新聞 きょう（6月8日）のイチ押し

一面・三面 共通テスト不正防止を強化 スマホ一斉オフ

今年1月の大学入学共通テストでの問題流出事件を受け、大学入試センターは来年の共通テストで不正防止策を大幅に見直し、スマートフォン使用禁止の厳格化や監督態勢の強化を図ることが分かりました。

- ★女子受験生は大阪の試験会場で問題をスマホで動画撮影し、ウェブ会議システムで外部にいた会社員の男と共有。男は問題を大学生らに通話アプリで送り、解答を返信させたとされます。情報通信技術は近年、飛躍的に進歩し、不正行為の発見は困難になっています。
- ★問題を流出させた女子受験生が、スマホにイヤホンをつなげ、外部協力者から解答を聞き取っていたことから、受験案内にイヤホンの使用禁止も新たに明記します。試験開始前に、監督者の指示でスマホなどの電子機器を一斉に机に出させ、電源を切ってから、かばんにしまうことにします。監督態勢も強化して、大学に監督者の巡視回数を増やすよう要請します。

一面・運動面 ボクシング井上尚弥 日本初の3団体統一王者

プロボクシングの世界3団体王座統一戦が、さいたまスーパーアリーナで行われ、WBA、IBFバンタム級統一王者の井上尚弥がWBC王者のノニト・ドネア（フィリピン）を2回TKOで破り、日本人初の3団体統一王者になりました。井上は世界戦連勝記録を18に伸ばしました。

激闘の末に判定勝利をおさめた初対決から2年7か月後の再戦となりました。井上は、1回終了間際に強烈な右ストレートでダウンを奪うと、2回も気迫十分に攻め立て、最後は左フックでドネアをリングに沈めました。「100点をつけられる。夢じゃないかと思うほど、うまくいきすぎた」と統一王者は会心の試合を振り返りました。

他紙と比べて

スポーツの試合結果などを賭けの対象にする「スポーツベッティング（賭け）」の解禁に向けて経済産業省が素案をまとめていたことが明らかになりました。スポーツ産業の活性化につなげる狙いですが、八百長やギャンブル依存を招きかねないために慎重論は強く、各界の猛反発は必至です。本紙は一面で連載「検証 スポーツ賭博」を開始しました。初回は、霞ヶ関でスポーツ賭博を巡る議論を進めてきた経済産業省は、賭博を巡る諸問題を熟慮しつつ、各界が納得する方法で議論をリードする資格があるのかを検証しました。